

作成日： 2009年8月20日  
改訂日： 2018年8月3日

# 安 全 デ ー タ シ ー ト

## 1.製品及び会社情報

製品名 ノンジルコネット (主な用途) クラック防止用メッシュ  
 会社名 株式会社 豊運  
 住所 大阪市東住吉区今川3-12-4  
 担当部門 技術本部  
 電話番号 0771-86-0844  
 FAX番号 0771-86-0899  
 緊急連絡先 東日本営業部 福島県石川郡平田村大字西山字水尾111-3 電話番号 0247-54-3232  
 西日本営業部 大阪市東住吉区今川3-12-4 06-6708-8131  
 製品番号 N-002

## 2.危険有害性の要約

GHS分類  
 健康に対する有害性 該当しない。  
 特定の危険有害性 情報なし。  
 人の健康に対する有害な影響 危険有害成分を規定量含有しない。

注意喚起語 なし

ガラス長繊維製品は、労働安全衛生法上の名称を通知すべき有害物に含まれません。

### 注意書き

ガラス繊維に触れると皮膚、眼、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。  
 安全の為、保護手袋、保護眼鏡及び防塵マスクを着用して下さい。  
 取扱後は、せっけんを用いて温水で洗い、うがいを励行して下さい。  
 かゆみや痛みが続くときは医師の診察を受けて下さい。

保管の際は水濡れを避けて保管して下さい。  
 また直射日光が当たる場所、高温が予測される締め切った空間での放置は避けて下さい。

## 3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分:集束剤及び結合剤を含む単一製品

成分名	CASNo.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
グラスファイバー	65997-17-3	1-548 *1
有機コーティング (XSBRL)	-	-

\*1 グラスファイバー成分中の主成分、1-548: SiO<sub>2</sub>として。

- ・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化学物質排出把握管理促進法)の第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しない。
- ・化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針別表の分類基準に該当しない。

※厚生労働省指針値14物質(アセトアルデヒド・フタル酸ジ-n-ブチル・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン

・ホルムアルデヒド・n-ノナール・スチレン・テトラデカン・トルエン・キシレン・クロルピリホス・フェノールカルブ

・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル・ダイアジノン)は含まない。

※アスベストに類する物質は含まない。

#### 4.応急措置

- 吸引した場合: 清浄な水で10回程度うがいをして下さい。また鼻を軽くかんで下さい。  
もし、鼻や喉にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合: 絶対にこすらないで下さい。最初、流水で洗い、次いで温水と石鹼で洗って下さい。  
入浴はガラス繊維を除去するのに効果があります。
- 眼に入った場合: 速やかに清浄な水で最低15分間洗眼した後、痛みが残った場合、医療処置を受ける。
- 飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗浄した後、医療処置を受ける。

#### 5.火災時の措置

- 消火剤: ガラス繊維自体は水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末のいずれも有効です。  
但し、発火原因により適切な消火剤を選定して下さい。  
冷却効果が大きい水を使用することが望ましい。
- 消火方法: ガラス繊維自体は不燃物であるが、繊維上に加工した集束材や表面処理剤は  
一般に可燃性です。燃焼時はCO,CO2,H2O以外の危険有害な焼成副生成物  
ほとんど発生しません。
- 消火を行う者の保護: 消化作業の際には必ず保護具を着用し、風上から消化作業をおこなう。

#### 6.漏出時の措置

- 漏出時にはできるだけ粉体の状態で回収する。  
人体に対する注意事項  
保護具及び緊急時措置: 回収作業には保護手袋、保護長靴、保護メガネ、防塵マスクなど適切な保護具を  
着用する。
- 環境に対する注意事項: 特になし。
- 封じ込め及び浄化の  
方法及び機材: 毛羽状、綿状になったガラス繊維が、床面などにこぼれた場合は速やかに粉塵が飛散  
しないように静かに清掃し、空容器や袋等に詰めて一般的な産業廃棄物と同等の扱い  
して下さい。

#### 7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
技術的対策  
取扱者のばく露防止: 眼、皮膚などへの接触を避けるため、適切な保護具(保護手袋、保護長靴、  
保護メガネ、防塵マスクなど)を着用する。取扱い後は顔、手、口などを水洗する。  
ガラス繊維は静電気を帯電する可能性があり、静電気による電子部品の破壊や爆発、発火  
の原因となることも考えられますので、必要な処置を講じて下さい。
- 局所排気・全体排気: 屋内で取扱う場合は換気に注意する。
- 安全取扱注意事項: 板状が崩れるような粗暴な扱いを避ける。
- 保管 直射日光、高温多湿を避けて、屋内に保管して下さい。

#### 8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度:  
(粉じん障害防止規則) 3.0mg/m<sup>3</sup>

許容濃度:	
日本産業衛生学会 (2004-2005)	吸入性粉じん 2mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 8mg/m <sup>3</sup>
OSHA	15mg/m <sup>3</sup> (TWA) total dust 15mg/m <sup>3</sup> (TWA) respirable dust
ACGIH	5mg/m <sup>3</sup> (TWA) inhalable dust 1fiber/cm <sup>3</sup> (TWA) respirable function

設備対策: 粉じんを発生する切断・研磨等の作業を行う場合には、  
管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。  
水洗設備の設置が望ましい。

#### 保護具

- 呼吸用保護具: 防塵マスク
- 手の保護具: 不浸透性保護手袋
- 眼の保護具: 保護メガネ(普通メガネ型、側板付き普通メガネ型、ゴーグル型)
- 皮膚及び身体の  
保護具: 保護長靴、保護衣

## 9.物理的及び化学的性質

### 物理的状態

形状:	ガラス繊維集合体(耐アルカリコーティング処理ガラス繊維メッシュ成形品)
色:	白色
臭い:	僅かに炭化水素臭あり
pH:	特性なし。
融点:	840℃(軟化点)
溶媒に対する溶解性:	水に不溶

## 10.安定性及び反応性

化学的安定性:	通常の取扱いにおいては安定であり、危険性はない。
危険有害反応可能性	
避けるべき条件:	直射日光、高湿度
混触危険物質:	情報なし。
危険有害な分解生成物:	情報なし。

## 11.有害性情報

急性毒性:	分類できない。
皮膚腐食性及び	
皮膚刺激性:	燃焼した場合に、眼、鼻、喉、皮膚を刺激するガスが発生する可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性	
又は眼刺激性:	データなし。
呼吸器感作性又は	
皮膚感作性:	データなし。
生殖細胞変異原性:	データなし。
発がん性:	IARCの発がん性区分で「区分3」に評価。(人に対する吸入性繊維の定義に合致しない。従って肺内にまで吸入されない上、発がんを示す一切のデータが認められなかった。
生殖毒性:	データなし。
特定標的臓器毒性:	データなし。
(単回ばく露)	
特定標的臓器毒性:	データなし。
(反復ばく露)	
吸引性呼吸器有害性:	

## 12.環境影響情報

魚毒性:	海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋、水域へ投棄してはならない。
残留性・分解性:	情報なし。
生態蓄積性:	情報なし。
土壤中の移動性:	情報なし。
オゾン層への有害性:	情報なし。

## 13.廃棄上の注意

破棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき破棄する。  
 該当法規に従って破棄物を処理すること。(国、都道府県およびその地方の法規、条例に従うこと。)

## 14.輸送上の注意

運搬に際しては、取扱に注意し、直射日光を避け、転倒、落下、損傷の無い様に積み込み、荷崩れの防止を完全に行うこと。  
 水濡れに注意すること。

## 15.適用法令

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・労働安全衛生法(粉じん障害防止規則)
- ・化学物質排出把握管理促進法: 第一種、第二種指定化学物質に該当しない。
- ・毒物及び劇物取締法: 非該当
- ・消防法: 非該当
- ・海洋汚染防止法: 非該当

## 16.その他の情報

本データシートはJIS Z 7253:2012[GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)]に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で当社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データなどに基づいて作成したものであり、新しい知見によって改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、当社が知見を有さない危険性、有害性を持つ可能性があります。

取扱事業者は本データシートを参考として個々の取扱い、用途、用法などの実態に応じた安全対策を実施のうえ、お取扱い下さい。

